

## 【情報公開文書】

### 他施設の観察研究への既存資料・情報の提供についてのお知らせ

2001年1月1日から2022年12月31日の間に、下記に該当する患者さんへ

- 1, 根治手術が行われ胃型腺系病変（分葉状頸管腺過形成や胃型腺癌）と病理診断された方
- 2, 術前に胃型腺系病変が疑われ根治術により病理診断が確定した方（病理結果は問わない）
- 3, 手術は施行されておらず、胃型粘液陽性、細胞診陰性（細胞異型なし）と診断され経過観察されている方

2023年4月24日

#### 1. 研究の名称

##### 子宮頸部胃型腺系病変のMRIに関する多施設共同研究

#### 2. 研究の目的

子宮頸部腺系病変の中に胃型形質を発現する疾患群があり、良性の分葉状頸管腺過形成から悪性の胃型腺癌に進展すると考えられています。良性の分葉状頸管腺過形成は悪性の危険性が問題となり、悪性化した胃型腺癌は不良な予後が問題となります。従って、的確な診断が重要ですが、その診断にも多くの問題があります。まず、良性の分葉状頸管腺過形成と非胃型疾患の鑑別が容易ではありません。次に、分葉状頸管腺過形成が時間経過によりどのような形態的变化を示すか分かっておらず、悪性の診断も容易ではありません。胃型腺系病変は稀な疾患で、単施設における少数例の検討では限界があります。そこで本研究の目的は、多施設で胃型腺系疾患の症例を後方視的に集積し、MRIの画像所見を解析することにより、分葉状頸管腺過形成の自然経過、分葉状頸管腺過形成と非胃型良性疾患や胃型腺癌との鑑別に有用な画像所見を明らかにすることです。

#### 3. 研究実施期間

2023年3月13日から2028年3月31日までを予定しております。

#### 4. 倫理審査

本研究は、大阪大学医学部附属病院の観察研究等倫理審査委員会の審査、及び研究機関の長（病院長 竹原 徹郎氏）の許可を受けて実施しております。

5. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

大阪大学大学院医学系研究科  
放射線医学講座 講師 坪山 尚寛

6. 研究対象者として選定された理由

分葉状頸管腺過形成の自然経過のMRIを用いての確認と、分葉状頸管腺過形成と非胃型疾患及び悪性化した分葉状頸管腺過形成とのMRI所見の比較、を行うため選定いたしました。

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

分葉状頸管腺過形成の自然経過の確認のため、閉経前の方と閉経後の方とのMRI所見の比較を行います。また、分葉状頸管腺過形成と非胃型疾患及び悪性化した分葉状頸管腺過形成とのMRI所見の比較を行います。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

情報：年齢、出産歴、閉経の有無、病歴、病理診断、腫瘍マーカー、MRI画像データ 等

9. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名

・共同研究機関及び研究責任者  
大阪大学大学院医学系研究科放射線医学講座/大阪大学医学部附属病院  
放射線診断・IVR科・講師 坪山尚寛

信州大学医学部画像医学教室/信州大学医学部附属病院  
放射線科・助教 大彌 歩

・既存試料・情報の提供のみを行う機関  
京都大学医学部附属病院  
放射線診断科・助教 樋本 祐紀

国立がん研究センター中央病院

放射線診断科・医員 橘川 奈生

琉球大学大学院医学研究科放射線科診断治療講座/琉球大学医学部附属病院  
放射線科・教授 西江 昭弘

10. 試料・情報の管理について責任を有するものの氏名又は名称

京都大学医学部附属病院  
放射線診断科・助教 樋本 祐紀

11. 患者さんの情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること

下記の 13 の連絡先にご連絡をしていただければ、患者さんの情報使用を停止いたします。

12. 本研究に関する資料の入手・閲覧およびその方法

患者さんの個人データについては、匿名化済みです。他の患者さんの個人データを取得することはできません。研究や個人情報保護に支障がない範囲で、本研究に関する研究の資料の入手・閲覧ができますので、下記の 13 に示す連絡先にお問い合わせください。ただし、研究や個人情報保護に支障があると判断された場合は、資料の入手・閲覧ができないことがあります。

13. 本研究への質問など

本研究に関する問い合わせ先

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座（画像診断学・核医学）  
（電話 075-751-3760：樋本 祐紀）

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口  
（電話 075-751-4748、E-mail [ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp)）